令和７年度　事務事業評価（議会）
（令和６年度決算）

分科会評価結果

<table>
<tr><td>分科会名</td><td colspan="5">経済環境分科会</td><td>整理番号</td><td colspan="3">経済環境－１</td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="8">スマート農業技術等活用支援事業費補助金</td></tr>
<tr><td>評価区分
（事務事業の方向性）</td><td>１</td><td>拡　充</td><td>②</td><td>継　続</td><td>３</td><td>改善の上で継続</td><td>４</td><td>終期設定し終了</td><td>５</td><td>休止・廃止</td></tr>
</table>

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、ロボット・ＡＩ・ＩｏＴといったスマート農業技術等の活用を支援することで、担い手の減少や高齢化に伴う人手不足、温暖化や自然災害の頻発により、生産基盤が脆弱化している本市の農業の持続的な維持及び発展につなげることを目的としている。

スマート農業技術等の活用により、省力化、生産性向上及び高品質な農産物生産を進める必要があるものの、スマート農業技術等は、導入コストが高く、本事業による支援がなければ普及が遅れ、産地の競争力が低下する恐れがあることから、本事業の必要性は高いと認められる。

今後については、スマート農業技術等の向上を注視しつつ、現状の課題を確認する中で、引き続きスマート農業技術等の活用に対する支援を行うことを求め、継続とした。